



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年11月11日

上場会社名 ソフトマックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3671 URL <https://www.s-max.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 俊郎
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部担当部長 (氏名) 中島 正弘 (TEL) (099) 226-1222
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	3,416	6.0	253	6.8	286	5.2	195	8.2
2023年12月期第3四半期	3,223	6.5	237	26.8	272	22.9	180	26.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年12月期第3四半期	32.62		-					
2023年12月期第3四半期	30.18		-					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	6,401	3,236	50.6
2023年12月期	6,718	3,219	47.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 3,236百万円 2023年12月期 3,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2024年12月期	-	0.00	-		
2024年12月期(予想)				30.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2023年12月期期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 創立50周年記念配当10円00銭

3. 2024年12月期の業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	6.4	657	13.0	700	11.8	462	2.1	77.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年12月期3Q	5,999,364株	2023年12月期	5,999,364株
2024年12月期3Q	357株	2023年12月期	357株
2024年12月期3Q	5,999,007株	2023年12月期3Q	5,993,039株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりましたが、実際の業績等は、様々な要因により、大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページに記載した「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、持続的な賃金上昇等により緩やかな回復が見られました。その一方で、エネルギー資源や原材料価格の高騰は続いており、地政学的緊張、外国為替相場の変動や金融政策の変更等、不確定要素が多く、国内経済の先行きは依然として不透明な状況です。

そのような環境で、医療DXにおいては政府より「骨太方針2024」にて全国医療情報プラットフォームの構築、電子カルテ情報の標準化、電子カルテ情報共有サービス等への取り組みが強力に進められることが示されています。また、2024年に新設の「医療DX推進体制整備加算」等もあって、「マイナ保険証」への対応の需要はさらに増し、電子処方箋につきましても補助金申請のための導入期限が2025年3月と迫りつつある中で、電子カルテシステムの新規導入やシステム更新のニーズは益々高まっています。

加えて、電子カルテシステム等の医療情報システムやクラウド技術、AIなどのテクノロジーは、社会的課題である社会保障費の抑制や医療サービスの地域格差解消、医療従事者の負担軽減や医療の安全と質の向上のため一層重要性が増しています。

このような状況の下、当社はおお客様の予算や環境に応じたパブリッククラウド、プライベートクラウド(※)双方の需要と既存顧客のリプレース需要の取り込みに注力し、医療DX関連のシステムの開発、販売、導入及び保守を継続してまいりました。また、開発・技術部門においては、システム機能の充実と信頼性の向上という方針を継続し、システムの機能強化とバージョンアップを促進するとともに、先進的なテクノロジーを使った医療プロジェクトを強化し、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,416,561千円(前年同四半期比6.0%増)、営業利益253,798千円(前年同四半期比6.8%増)、経常利益286,705千円(前年同四半期比5.2%増)、四半期純利益195,694千円(前年同四半期比8.2%増)となり、電子カルテの需要増加に伴う順調な受注活動による案件数の増加等により、前年同四半期比で増収増益となりました。なお、売上高は、第3四半期累計期間ベースでは4期連続の増収となり、過去最高となりました。

(※) パブリッククラウド：外部のデータセンターを利用してアプリケーションを使用すること

プライベートクラウド：同一医療法人内ワンサーバーでのクラウド環境でアプリケーションを使用すること

なお、セグメント別の業績につきましては、システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しておりますが、受注実績及び販売実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

①受注実績

種類別	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア	3,127,518	170.0	2,986,620	199.0
ハードウェア	1,161,776	157.0	1,015,414	193.3
合計	4,289,295	166.3	4,002,034	197.5

②販売実績

種類別	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	前年同四半期比(%)
	販売高(千円)	
ソフトウェア	1,435,403	102.0
ハードウェア	789,703	114.1
保守サービス等	1,191,454	106.0
合計	3,416,561	106.0

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ、流動資産が384,609千円減少し、固定資産が66,889千円増加した結果、317,720千円減少し、6,401,008千円となりました。流動資産の減少は、主に仕掛品が778,230千円増加した一方で、現金及び預金が288,436千円、受取手形及び売掛金が977,923千円それぞれ減少したこと等によるものです。また、固定資産の増加は、主に投資その他の資産が72,216千円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ、流動負債が326,682千円減少し、固定負債が7,539千円減少した結果、334,221千円減少し、3,164,835千円となりました。流動負債の減少は、主に短期借入金300,000千円減少したこと等によるものです。また、固定負債の減少は、主に長期借入金13,140千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ、16,500千円増加し、3,236,173千円となりました。その主な要因は、四半期純利益195,694千円の計上、配当による利益剰余金の減少179,970千円によるものです。なお、自己資本比率は50.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、現時点において2024年2月13日に公表しました業績予想から据え置いております。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおりますので、実際の業績等は今後の業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,922,125	2,633,689
受取手形及び売掛金	1,811,838	833,914
商品	280	227
仕掛品	76,822	855,052
貯蔵品	613	497
その他	67,252	170,940
流動資産合計	4,878,931	4,494,322
固定資産		
有形固定資産		
土地	770,309	770,309
その他(純額)	282,796	285,138
有形固定資産合計	1,053,105	1,055,448
無形固定資産		
投資その他の資産	39,838	32,168
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	562,002	555,846
その他	184,851	263,223
投資その他の資産合計	746,853	819,070
固定資産合計	1,839,797	1,906,686
資産合計	6,718,729	6,401,008
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,219,640	1,254,439
短期借入金	1,150,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	17,520	17,520
未払法人税等	125,133	25,918
賞与引当金	-	87,000
その他	333,408	284,142
流動負債合計	2,845,702	2,519,019
固定負債		
長期借入金	162,060	148,920
退職給付引当金	311,506	321,718
役員退職慰労引当金	149,572	146,733
その他	30,214	28,443
固定負債合計	653,354	645,815
負債合計	3,499,056	3,164,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	442,250	442,250
資本剰余金	303,400	303,400
利益剰余金	2,474,314	2,490,038
自己株式	△293	△293
株主資本合計	3,219,672	3,235,396
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	-	776
評価・換算差額等合計	-	776
純資産合計	3,219,672	3,236,173
負債純資産合計	6,718,729	6,401,008

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,223,074	3,416,561
売上原価	2,265,541	2,399,439
売上総利益	957,533	1,017,122
販売費及び一般管理費	719,836	763,323
営業利益	237,697	253,798
営業外収益		
受取利息及び配当金	39	187
受取賃貸料	60,186	58,274
その他	694	869
営業外収益合計	60,919	59,330
営業外費用		
支払利息	3,433	3,049
賃貸費用	22,647	23,374
その他	0	-
営業外費用合計	26,080	26,423
経常利益	272,535	286,705
税引前四半期純利益	272,535	286,705
法人税、住民税及び事業税	131,035	121,038
法人税等調整額	△39,384	△30,027
法人税等合計	91,650	91,011
四半期純利益	180,884	195,694

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）及び当第3四半期累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

当社の事業は、システム事業の単一セグメントですので、記載は省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	28,129千円	37,398千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。